

---

01-04 特集&インタビュー 「弧の会」日本舞踊は、格好いい!

---

05-06 稽古場にお邪魔しました 「ゲゲゲの女房」

---

07-08 インタビュー 「サエラ」50代・実力派・“新人”デュオ登場

---

09-10 SERIES 映画・ワークショップ・音楽・美術

---

11 Pick Up 素朴な画家たち vol.3

---

12 COMING SOON!

---

13 voice お客さまの声、から

---

14 最近、こんなを読んでいます / PiPi New!! SHOP





特集&インタビュー 弧の会 ～流派を超えて集まった“踊る男たち”の、迫りに満ちた圧倒的な群舞

# 日本舞踊は、格好いい!



紋付・袴・素踊りのシンプルなスタイルで、日本舞踊の進化形を追求する、男性舞踊家集団「弧の会」。敷居が高い・堅苦しい・難しそう…そんな日本舞踊の固定概念を覆し、流派を軽々と超え、エンターテインメント性溢れる舞踊作品を創作し、発表しています。春日井では、勇壮な代表作『御柱祭』、独自の三番叟物『はじめ式』、耳なし芳一をベースとした最新作『芳一』の三演目を披露。余分なものを徹底的にそぎ落とした身体表現、踊り手たちの真剣勝負が垣間見られるダイナミックな群舞…「弧の会」の大いなる冒険に、お立ち会いを。



8月末、子ども向けワークショップのために春日井に来てくださった、「弧の会」メンバーの西川大樹さん、猿若裕貴さん、若柳里次朗さん。日本舞踊の世界で何を思い、未来へ向けて何を考えているのか？ そんな話を率直にお伺いしてみました。

—お三方ともに、日本舞踊のお家に生まれていらっしゃいます。堅苦しいイメージのある日本舞踊を、若い時分から継いでいこうと決めたまきは？

**西川** 日本舞踊をやる・やらないの選択は、一般の方とは違うでしょうね。ラーメン屋に生まれれば自宅に製麺機があるのと同じで、特別ではなく、僕の場合はいつのまにか始めていました。

**猿若** 十代のころは、バンドで生活していきたくて夢を見ていたこともあります。ただ立ち止まって考えたときに、日本で生まれ育ったのだから、日本のものを扱う仕事をするべきじゃないかと思ったんです。日本舞踊の良さを認識するきっかけになったことは確かです。

**若柳** 僕は演劇やミュージカルに憧れて勉強していたんですが、高校時代に進路を考えるプロセスで、自分の家がやっている日本舞踊の新たな魅力に気がきました。改めて“日本人だからこそできること”に向き合ってみようと、日本舞踊をやることにしました。

—「弧の会」結成にはどんな経緯があったのですか？

**猿若** 日本舞踊の世界では、毎年いろんな流派の方が創作舞踊の公演を開催しています。ある時、大樹さんのお父様である西川喜之輔先生が出演者を選し、集まったのがこのメンバーでした。

**西川** 「弧の会」をやるために集まったわけではないんですよ。たまたま出会ったメンバーが意気投合した、という…。

**猿若** 当初は10人で、僕は彼らの公演を客席で観ていたんです。一緒にやりたいと思って挙手しました。年齢も微妙に違うので、この出会いがなければ、「弧の

会」もなかったかもしれませんね。

—流派が違うため、集まるだけでも大変だと思います。例えば代表作『御柱祭』はどうやって創られたのですか？

**若柳** そもそも諏訪の御柱祭に興味を持っていたので、これを題材に創作できる音源を探していました。そんな時に出会った鼓童さんの曲が、御柱祭の各シーンを踊りに昇華できる、ぴったりのものだったんです。

**西川** 音楽にあわせて各シーンをそれぞれが振り付けし、持ち寄り、全員で磨いていきました。「弧の会」の作品は誰が振付したと明記せず、全員で責任を持ちます。

**猿若** メンバーには年上の先輩もいますが、創作ではお互い対等でなければなりません。作品ごとに役割を変え、意見を忌憚なく交わされる雰囲気、先輩たちが作ってくれています。

**西川** 「気にすんなよ」って、先輩の方から垣根を取り払ってくださるんです。だからこそ続けられるのだと思います。

—新作『芳一』の見所は？

**猿若** 『芳一』には“無常観”など、いくつかのテーマがあります。いろんな登場人物が出てきますが、みな同じ黒紋付で役を演じます。耳なし芳一がどんな人だったかわからなくても、お客さ

まそれぞれにイメージしてもらえればいいですし、それが日本舞踊の醍醐味。ダイナミックさがウリの『御柱祭』に対して、『芳一』は独特なストーリー性が特徴。この二演目だけでも日本舞踊の幅広さを感じてもらえると思います。

各自のキャラクターと対等なスタンスが、何よりも大切

—本来の日本舞踊では、群舞という表現方法はあるのでしょうか？

**猿若** 日本舞踊の演目じたい、主役がいたり少人数での踊りが多いんです。いつも主役をやる人間が集まり、各自の色を出しながら一斉に踊れば面白いと思います。

**西川** 『御柱祭』では側転を取り入れた舞があります。これを普段の日本舞踊でやってはいけない、という決まりはないんです。ただ、男性のみで、これだけの人数で演じる環境は無いですけどね。

**猿若** ラインをきちんと揃えることを目的とした群舞はあるかもしれません。僕たちが敢えてそこを重視しないのは、各流派の持ち味を全面に出しながら、一つの作品をどう見せるか？という骨太な部分に焦点を当てたいからなんです。各流派の看板もプライドもあるからこそ、各自のアプローチを尊重しつつ、最終的に何か一つのものを表したい。そう





いう意味で、この人数の群舞は珍しいと思います。

一流派の違いについては、どのようにお考えですか？

猿若 別の流派の方と喋ることが禁止されていた、封建的な時代もありました。その頃に比べれば、門も開かれ交流が盛んになっています。しかし逆に、流派ごとの特色が徐々に薄まっているんです。弧の会で演じていると、改めて自分の流派の踊りが「こういうものだった

んだ」と再認識できる。きちんと継承していきたいな、と心が改まります。

西川 プロとして、流派の違いは確実にあるということ認識した上で、逆にそこを超えるなんて大したことない、というスタンスでありたいです。流派ごとの踊りのセンスだけでなく、それぞれの個性も重視したいです。

公演先で子どもから

「いつか、弧の会に入るからね」って言われたときは、嬉しかった

一舞踊家としての目標は？

猿若 日本舞踊を広めていきたいというのは、みんな一緒だと思います。古くから伝わるものを授かっている以上、後世の一つでも何か残したい。日本の踊り、日本の着物、日本の楽器で、自分たちが一番格好いいと思えるものを、素直に情熱をもって創り続けたいです。使う素材を急に料理しない方が、それぞれの良さを引き出せると思うので、オーソドックスなスタイルを極めたいです。

西川 僕たちの先輩は、日本舞踊を知っている方へのさらなる普及のために、異分野とのコラボレーションを行ってこられました。でも今は、普通に日本舞踊を知らない方が多いので、まずは“シンプルに格好良く”から始めたいです。

猿若 着物を着ているだけで格好いい、というのが、今の現状。原点回帰です。

若柳 日本舞踊にとって譲れないところもありますが、形は崩さずに、どうやって一般の方に観て、触れてもらえるかが課題です。何もしないで、ただ見守るだけではなく、自分たちからアクションをおこしていきたい。こちらからはっきりとメッセージを出し、多くの人と接点をもっていくことから、です。

西川 日本舞踊には、お稽古ごとや発表会のイメージがあります。そこを超えて、単純にエンターテインメントとして観たくなるものを作りたいですね。

猿若 生意気な言い方なんですけど、日本舞踊家になりたい、って思ってくれる子どもたちが出てくるといいな。“自分自身が目標になれること”、それが目標です。



8/26 (金) に開催した、子ども向けワークショップ「日本舞踊を踊ってみよう!」の様子、から。



座り方・立ち方、手のつき方。最初は「礼儀作法」から学びます。



扇子を落とさないように歩きます。腰を落とし、すり足でスッスッと。



元禄花見踊の音楽にあわせて、踊る子どもたち。様になってますね!

### 日本舞踊 弧の会「コノカイズム」

11/13(日) 14:00～ (開場は30分前) | 春日井市民会館



[料金] S席¥4,000、A席¥3,000 PiPi会員 S席¥3,500、A席¥2,500  
全席指定、当日券同額、未就学児不可

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約、チケットぴあ (Pコード414-304)、ローソンチケット (Lコード43698)、名鉄ホールチケットセンター

[出演] 泉徳保、市山松扇、猿若裕貴、西川扇衛仁、西川大樹、花柳榮輔、藤間勘護、藤間章吾、藤間仁風、若柳吉優人、若柳里次朗

[助成] 財団法人地域創造

聴けば必ず「舞台」が観たくなる!

流派の違いって具体的にどう違うの? どうやって舞踊家になるの? 皆さんの疑問に実演を交えながら、メンバーがお答えします。

### 「弧の会」レクチャー&デモンストレーション!

10/9(日) 19:00~20:00

| 文化フォーラム春日井・交流アトリウム  
入場無料

[出演] 市山松扇、猿若裕貴、花柳榮輔



## 和装男子に萌えてみる!?

### 伝統芸能が楽しくわかる和装男子漫画 厳選8冊!!

楽しくするための、伝統芸能が舞台となった漫画たち。

その中でも日本舞踊が作中に出てくる漫画を中心に、独断と偏見でご紹介します。



選:「弧の会」公演担当&漫画オタク 小松淳子



#### 「王子」が舞う、究極に美しい『鶯娘』

「オレンジチョコレート」◎山田南平

主人公・千尋の隣に住む姫野律は、日舞の家元の跡取りで、今や“おいらん王子”と呼ばれる大ブレイクの有名人。仕事が忙しく悩む様子を見て「律ちゃんと代わってあげたい」と思った千尋の願いを、お稲荷様が叶えてしまったために、二人の身体が入れ替わる大パニックの展開に!! 作中に出てくる『鶯娘』『藤娘』の日舞のシーンは、美形を描くことに長けた作者ならではの、究極に美しい女形の舞が堪能できます。



#### 命をかけて舞う男たちの『連獅子』

「かぶく者」◎原作:デビッド・宮原 漫画:たなか亜希夫

日本舞踊には歌舞伎舞踊があり、歌舞伎とは切っても切れない間柄。そんな歌舞伎舞踊の中でも、勇壮な『連獅子』が登場するのがこの作品。台本無視で相手を巻きこむ舞台演しの市坂新九郎と、完璧すぎる芸で共演者を破壊する役者演しの山中銀之介。『連獅子』で共演する二人は毛振りのコツを掴むため、高層ビルの屋上の柵を乗り越え、一步間違えば落ちて死ぬ場所で稽古します。芸に命をかける二人の真剣勝負に魅了されます。



#### 女子必見! 今一番注目の歌舞伎漫画

「びんとこな」◎嶋木あこ

歌舞伎の名門の御曹司でありながら、やる気のない恭之輔。一般家庭に生まれ、実力のみで歌舞伎界で成り上ろうとする一弥。この対照的な二人が、あやめという女の子を好きになったことから、二人の運命が交差します。あやめに認められなくて必死に努力する恭之輔は、嫌々ながらも一弥に舞を教えてもらうことに。二人が踊る『棒しばり』は、舞台の楽しさに目覚めた恭之輔の笑顔に思わずキュンとなる、女子必見のシーンです。



#### 少女漫画の典型+歌舞伎=♥

「楽屋裏王子」◎桜小路かのこ

女子高校生・朱里の学校の堀内先輩は、実は歌舞伎界の名門の御曹司・市村松之助。ある日、ひょんなことから歌舞伎座に入ってしまった朱里は、松之助と出会います。自分がぶつけた鞆で松之助が怪我をしたことを知った朱里は、責任を取って付き人になるのですが、彼は極度の人嫌いで…。女子高生が付き人?という設定はさて置き、歌舞伎を全く知らない中・高生が、楽しみながら歌舞伎に触れる入り口の漫画としてお勧めです。



#### 明治時代の息吹を感じる骨太の作品

「蠢太郎」◎村上もとか

「JIN-仁-」の作者である村上もとかが、激動の明治に生きる女形・中村蠢太郎の人生を描いた作品。フィクションでありながら、江戸から明治にかけての歌舞伎役者が実名で登場し、当時の歌舞伎小屋の雰囲気伝わります。特に明治20年に行われた天覧歌舞伎において、帝の前で万感の思いを込めて『鶯娘』を舞う蠢太郎の姿は胸に迫ります。政治と芸能が密接に関わっていた時代を知る歴史漫画としても、読みごたえ十分です。



#### 能の世界に生きる現代の若者たち

「花よりも花の如く」◎成田美名子

能の一門に生まれた若手能楽師・神原兼人の日常を描いたこの作品は、能に興味がある人にぴったりの作品。実際に舞台に足を運び、綿密な取材を重ねて漫画にしている作者の熱意とこだわりが紙面から伝わってきます。特に『土蜘蛛』『橋弁慶』の舞台の様子は、実際に舞台を見たくなる欲求にかられる迫力! また8巻の巻末に収められた能楽師と作者の『道成寺』対談は、舞台の裏話満載。楽しく『道成寺』が学べますよ。



#### 落語家は踊りが達人な方も多いです

「たまちゃんハウス」◎逢坂みえこ

着物を着て舞台上に上がる職業と言えば、落語家を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか? そんな落語家の日常や、内弟子事情をほのぼのと描いたのがこの作品。登場人物の一人・松之家小吉の父は偉大な落語家。日舞を稽古する父の姿を見つとも、日舞は性に合わない、やらない小吉。ある日、父の十八番である『皿屋敷』に挑戦するのですが…。父が何故日舞を踊っているのか、小吉が高座で骨身に沁みるオチが傑作です。



#### こちらの“伝統”の裏方さんにもご注目!

「呼出し」◎中村明日美子

“着物を着て仕事をする”のは舞台人だけではありません。相撲の呼出しさんも、白扇を手に着物を着ています。「こんなことしているの?」と驚くくらい、土俵に関わるあらゆることに気を配る縁の下力持ち。この話は相撲家の両親が、息子の聲を呼出しにしようとして画策することから始まります。しかし聲は人生初の可愛い彼女が出来たところで…。相撲に全く興味が無い聲がどうやって伝統の世界に入るのか、これから注目の作品です。



©水木プロ

# 妖怪たちも登場する 涙あり、笑いあいの “ポップな芝居”

8月末、立ち稽古が始まって2日目。

「ゲゲゲの女房」の稽古場は、不思議なもので溢れていました。

妖怪図鑑、墓場を模した舞台セットの模型、段ボールで作った妖怪の衣装…。

安来節をみなで歌い、その世界観に没入していく役者さん達、なんだか楽しそうです。

いわゆる人情劇とは一線を画す、舞台版「ゲゲゲの女房」。

舞台ならではの“生な感じ”、一緒に没入してみましょう。

ワクワク!

①妖怪役、きました!



②とても仲の良い渡辺さんと水野さん。夫婦役、ぴったりです。



③真剣な表情の水野さん、渡辺さん。演出家への確認も怠りません。



演出家や制作スタッフは舞台準備で忙しく、役者たちは本読みや役づくりに勤む、そんな稽古前。水野美紀さん(村野布子役)と渡辺徹さん(水木しげる役)のお二人に、お話を伺いました。

—とうとう稽古が始まりましたね。お二人から見て、この芝居、どんな感じになりそうですか?

**水野** 私が演じる布子役以外は、みんな変な人ばかりなんです。もともと水木さんのまわりって不思議な人が多かったって聞きますけれど、舞台版もまさにそんな感じです。

**渡辺** 全体的にエネルギー値が高く、稽古時からすでに熱気ムンムン。演出家の

東さんがパワー全開、声も大きい!小さな稽古場でも声を張り上げるから、こちらにもエネルギーを出さざるを得ないんです(笑)。いいスタート切ってますよ。

**水野** 芝居は、過去を回想するような形で進んでいきます。ドラマ・映画でお馴染みの内容ですが、妖怪役も本当に出てきたりと、舞台だからこそできる演出で、新たな面白さが発見できると思います。

**渡辺** いわゆる人情劇や起承転結のはっきりしたドラマとは全く違うものです。いうなれば“ポップな芝居”。心を通わせる会話やふっと笑える展開もありますが、脚本・演出によってここまで印象が変わるのかと、驚かれる方もいるかもしれませんが、脚本・演出によってここまで印象が変わるのかと、驚かれる方もいるかもしれませんね。立ち稽古が始まって2日目

ですが、かなり刺激的な日々を送っています。

—今回、お二人は初共演で夫婦役。お互いの印象はいかがですか?

**水野** 徹さんは、身体だけではなく(!)、どっしりとした存在感を持っていらっしゃいます。後ろからついていこう!という気にさせられるんです。

**渡辺** 水野さんも貫禄がありますよ。お互いに“重い夫婦”を演じるということで(笑)。僕ら二人は、そもそもアクションスター。早すぎて見えないかもしれませんが、実は凄いスピードでバク転したりしているんですよ。(そんなことしてませんけどね、笑)

④水木夫婦のまわりに妖怪たちが! ちょっと怖いけど、とても楽しそう!



⑤安来節を練習する役者たち。みなで歌います。



⑥稽古場には妖怪に関する資料がたくさん。右の写真は、座敷わらしの衣装??



©水木プロ



⑦舞台ならではの独特な世界が楽しみです!



## ゲゲゲの女房

10/22(土) 14:00~ (開場は30分前) | 春日井市民会館

[料金] S席¥5,000、A席¥4,000

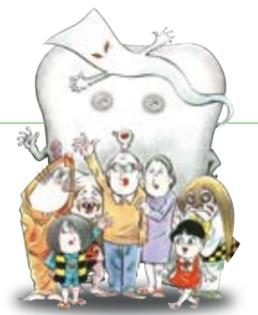
PiPi会員 S席¥4,500、A席¥3,500

全席指定、当日券同額、未就学児不可

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約、

チケットぴあ(Pコード413-263)、ローソンチケット(Lコード42889)、名鉄ホールチケットセンター

[出演] 水野美紀、渡辺徹 梅垣義明、篠田光亮、大和田獏、ほか



©水木プロ

—お二人は、地元・青森県五所川原市の主婦コーラスで出会ったそうですね。

**高橋** 家業を手伝いながら気楽に参加できると聞き、ピアノが弾きたくて入りました。もともと実力のあるコーラスグループで、私と菊地が入った時にたまたま、全国コンクールで優勝し、アメリカへの演奏旅行に招待されていたんです。せっかく行くのだから、日本の歌を歌おうという話になり、声が良く、コーラスでも目立っていた菊地に声がかかりました。そこで彼女は津軽民謡を歌ったんです。聴いた途端、「それをやろう!」と盛り上がりました。

**菊地** 高橋の伴奏もぴったり。これが縁

で、出会ったばかりなのに旅行中の部屋もずっと一緒にさせていただきました(笑)。二人で歌や曲の話をするうちに盛り上がり、一生に一度の記念にPTAのお母さんたちの協力を得てライブを開催しました。一回限りと思っていたのですが、あるお母さんからこんな声をもらったんです。「私たちは主婦で、子どもがいて、自分のやりたいことを思いっきりやれなくなってしまった。だけど、やりたいことがあってやれる人はやるべきだ。頑張ってください」と。私たち本気になっちゃって! みんなに応援されてスタートを切りました。

いろんな場所で歌っていると、行く

先々のお客さんが「今度はあそこで歌って」と紹介してくださるんです。そんな小さな出会いが数珠のように繋がって、メジャーデビューに至りました。

**大好きなジュリーの『君をのせて』娘が好きな『ハナミズキ』。世代を超えて、歌える幸せ**

—ジャンルにこだわらないのが、サエラさんの基本スタンス。その象徴に、昨年アルバム4枚全60曲を同時リリースされました。「オリジナル編」「民謡編」「童謡編」「歌謡曲編」。珍しいことですよね。

**菊地** そもそもコンサートでは、全ジャンル

インタビュー サエラ <sup>♪</sup> ~歌謡曲・民謡・童謡・オリジナルをピアノ・アレンジで歌う

## 50代・実力派・“新人”デュオ登場

地元の主婦コーラスで出会った二人が、地道な活動を続けて約20年。昨年、とうとうメジャーデビューを果たしました。その名も“サエラ”。周りの主婦たちに乞われ、歌い続けてきた彼女たちが、春日井で初めてのコンサートを開催します。ノンジャンルをこだわりとし、普通の暮らしの中にあるものを歌ってきたサエラが語る、歌に込めた、たくさんの想い。時に「津軽弁」で♪



ボーカル：菊地由利子



ピアノ：高橋朋子

♪  
ンルの曲を必ず歌ってきました。私たちの世代は小さい頃からいろんなジャンルの音楽を聴いて育っています。一つの音楽番組にアイドルから演歌歌手まで出演していたし、そのことに違和感がありませんでした。でも今は若い人向けのもの、演歌だけ、とジャンルわけされているものが多くて、物足りないんです。ジャンル関係なく、そして新しい・古い関係なく、素敵な歌に出会いたいの。高橋 サエラを表現するにはジャンルだけじゃわかってもらえないんです。そんな時、CDをプロデュースしてくれたアミューズから、60曲同時リリースしようと提案をいただき、今までに無

かったこと、自分たちだけではやれないことにチャレンジしました。

**その土地でなければわからない  
悲しみを歌う民謡**

**—民謡を取り入れているのが特徴的です。青森という土地の影響ですか?**

**菊地** 実は、青森でも民謡は身近ではありません。既に古典になってしまっ

**高橋** ただ、私たちが子どもの頃、民謡が上手なお爺ちゃんが必ずいて、お正月や結婚式では自然に手拍子が鳴り始め、歌われていました。そんな体験が身体に染み込んでいて、演奏やアレンジに反映

されているのかもしれない。

**菊地** 特に『ホーハイ節』は哀愁あるメロディーなので、若い方にも人気があります。私たちの歌がきっかけで「原曲を聴いてみたい」という方が一人でもいてくだされば、嬉しいです。

**音楽が救ってくれた  
たくさんの気持ち**

**—メジャーデビューには、家族の理解も重要だったのではないですか?**

**高橋** 私たちが知り合った当時、うちの下の子は4歳でした。お母さんではない別の顔が生まれ、しかもどんどん変わっ



ていくので面喰ったと思います。デビューの時も、なんでわざわざ東京に行くの?って。ただ最近のTV出演などで、ちょっとわかってくれたみたい。今は子どもたちも応援してくれています。**菊地** 子どもたちが成長していくたびに、その時々でいろんな問題や悩みがあって、それを二人で相談しながら音楽にも反映してきました。コンサート会場のお客さんにも話したりしてね。(ここから津軽弁で→)「今日こんなことがあってさ〜、だから今日はこの曲聴いてさ〜、元気になるべし〜」って感じで。だから、歌うことと暮らすこと、この2つが自然に寄り添っているんです。

**聴いてもらうだけじゃなくて  
いろんな人に歌ってもらいたい**

**—春日井のお客さまへメッセージを。**

**菊地** はじめての土地なので、とても楽しみです。肩の凝らないコンサートです

から、帰りに鼻歌でも歌いながら、楽しかったなあ、元気になったなあって思ってもらえれば、嬉しいです。明日の元気のために、是非おこしく下さいね。

**高橋** 懐かしい歌もたくさん演奏します。菊地の津軽弁トークもお楽しみに。

### 第73回かすがい芸術劇場 サエラ ノスタルジックコンサート

12/17(土) 14:00~ (開場は30分前)  
| 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[料金] ¥2,500 PiPi会員¥2,200  
全自由席、当日券同額、未就学児不可

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、  
電話予約、チケットぴあ (Pコード148-451)



**Album**  
「うた〜 by 60sixty」  
4作品 各¥2,500-  
2010.11.24発売

**Maxi Single**  
「白もくれん」  
¥1,200-  
2010.10.6発売  
TKCA-73570

オリジナル編  
♪白もくれん ♪玉手箱 ほか  
民謡編  
♪ホーハイ節 ♪木管節 ほか  
童謡編  
♪かあさんの歌 ♪朧月夜 ほか  
歌謡曲編  
♪君をのせて ♪秋桜 ほか

ダンスの「影」がとても綺麗です

夢への扉を開けた歌声

text. 映画担当 多門祐子



歌手を夢見て田舎からロサンゼルスにやってきた主人公アリ(クリスティーナ・アギレラ)が、「バーレスク」を経営するテス(シェール)と出会い、ショーガールとして成長していくサクセス・ストーリーです。

二人の女性を演じるのは、ともにグラミー賞をとった実力派スター。1999年デビューのアギレラは、本作品が映画初出演。身長156cmには見えないセクシーでダイナミックなダンスは圧倒的、ドキドキものです。方や大御所のシェールも負けてはいません。「You Haven't Seen the Last of Me (私はまだやれる)」を歌う彼女の佇まいには、思わず息をのんでしまいます。テスと彼女を演じるシェールの生きる力が重なり響きあうこの歌に、私の胸の奥は熱くなり、同じシーンばかり何度も見ては涙してしまいました。

華やかなダンスと格好いい歌声で、ライブ感満載。たくましく生きるための元気をもらえる“ザッツ、エンターテインメント”を、日曜シネマのスクリーンで。

いい映画、お先に拝見



かすがい日曜シネマ「バーレスク」  
| 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール  
11/20(日) ① 10:30~ ② 14:00~ (開場は30分前)  
【料金】 ¥900、ペア ¥1,700 (ともに当日 ¥200増) 全自由席、上映時間指定、3才以上有料  
PiPi会員 ¥800、ペア ¥1,500 (ともに当日同額) 3才以上有料  
お得な3作品通し券あり! 一般 ¥2,500、PiPi会員 ¥2,100  
【取扱い】文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約  
監督 スティーブン・アンテン アメリカ映画 2010年 / 100分 / カラー・日本語字幕



世界で初めてソロサイタルを行った人です!

音楽まめマメ知識

vol.11 人気者のリスト

text. 昼コン&夜コン担当 大山鋭裕



19世紀ハンガリー生まれ。作曲家として有名なリストですが、ピアニストとしても「6本指」「魔術師」と呼ばれるほどの名手で、“超絶技巧”の代名詞と言っても過言ではありません。現在でもリストを超えるピアニストはいないと言われています。

おまけに、かなりの“イケメン”。演奏が始まると、女性ファンが失神してしまうほどのアイドルだったようです。ヨーロッパ各地でコンサートを行えば「追っかけ」が出現し、名前入りの商品や似顔絵が飛ぶように売れました。その他にも、髪の毛やタバコの吸いがら、忘れていった手袋を奪い合ったり、ホテルまで押しかけて、お風呂の水を飲んだツワモノ(?)もいたそうです。うーん…、やりすぎ!!

昼コン&夜コン | 文化フォーラム春日井・交流アトリウム | 入場無料

10/1(土) 14:00~ 昼コン「～親愛なるリスト先生へ～ ハッピーバースデー 200歳!」

【出演】豊永美恵(クラリネット)、原田綾子(ピアノ)

10/28(金) 19:00~ 夜コン「ココロノフルサト」

【出演】安藤よしの(フルート)、吉積光二(ホルン)、野田淳子(ピアノ)、加藤純子(語り)、中山尚子(絵)

11/12(土) 14:00~ 昼コン「スケール2倍!」 【出演】安原千絵(クラリネット)、深谷展晃(チェロ)、小島千加子(ピアノ)

あのルソーもルーヴル美術館で模写していた!



真似から作家の思いに迫る!?

text. 展覧会担当 林美智子

何かを学ぼうとしたとき、優れたモノや人に憧れて真似をしたり、教えを請うたりしますよね。絵画の場合には、“模写”という手法があります。

今回のお手本は、ルソーに代表される“正規の美術教育を受けず、描きたいという心の衝動に従って作品を創造した画家たち”の作品です。

そんな彼らの作品は、お堅い理屈やテクニックなどとは無縁。“光の向きがヘン?” “ベタ塗?”と思われるものもありますが、それが素直で飾り気のない魅力でもあります。これを模写するとなると作品の細部までじっくり観察するので、普段の鑑賞では気付かなかった独特な構図や力強いタッチ、気が遠くなるほど緻密に描き込まれた線など、こだわりを体験することができるのです。

私も試しに描いてみました。穴が空くほど作品を見つめ鉛筆で模写していると、彼らのモデルへの愛情や描くことへの喜びに、つい、思いを馳せてしまいました。

Let's Try!



用具は全て貸し出すのでお気軽に!

展覧会 世田谷美術館コレクションによる  
アンリ・ルソーと素朴な画家たち

→関連記事11pにもあり!

関連講座「えんぴつで模写」2012/3/3(土)、3/10(土)開催  
お申し込みは1/15(日)~2/15(水)

ちかくの、芸術

記憶の体温

text. Shift Cube担当 丸山和代

学生時代は科学者のように腐食実験を繰り返したそう。



版画にはエディションナンバーがあり、一つひとつ違うのが面白い!

吉田ルシアさんの作品を初めて見たとき、「ぎゅっ」と胸をつかまれるような感覚を持ちました。モノクロームの風景画には、どこかで見たような石の階段や木立が、紙に沈み込むように描かれていたのです。

吉田さんは、現実と記憶の風景を重ねて描いたスケッチをもとに、“エッチング”という技法で版画作品を制作しています。金属板に傷をつけて描いた版面を薬剤で腐食させると、緻密で繊細な線の強弱が作られます。同時に吉田さんの経験のもと、作品は薬剤と時間に託され、硬質な線の上に、偶然現れた版の痕が重なります。作品はまるで“記憶の中の風景”がかろうじて形をとどめるかのようです。

最近になって、吉田さんの作品はあたたかな色を持ち始めました。それは、木立の中の赤い屋根の家であったり、ほんのり色づくブーケであったりします。記憶が静かに息づき始めたのかもしれない。

SHIFT CUBE

文化フォーラム春日井・交流アトリウム | 入場無料

吉田ルシア展 10/22(土)~11/27(日) 9:00~20:00



**ばら色の衣装をつけた二人の踊り子**

1928年 油彩・カンヴァス 98.0×66.0cm 世田谷美術館蔵  
 バウシャンの作品の中でも珍しく、バレリーナを描いた絵。ディアギレフに舞台美術・衣装を依頼された同年に描かれており、関係性について今後の研究が待たれるところだ。



**花** 1952年 油彩・カンヴァス 50.0×66.3cm 世田谷美術館蔵

愛情に満ちて描かれたのどかな自然の風景。遠景の街、緑の森を頂く崖、白い波頭をみせて流れる川が、咲き誇る花々を引き立てています。

## アンドレ・ボーシャン (1873-1958)

text. 展覧会担当 鳥羽都子

「フランスの庭園」と讃えられるロワール渓谷は、フランスの大川ロワール河流域に広がる風光明媚な一帯。世界遺産にも登録されています。

そのロワール渓谷の中心部の小さな村に、今から140年ほど前、ある男の子が生まれました。その子アンドレ・ボーシャンは、小学生の頃から園芸師の父親の見習いをはじめ、長じて跡を継ぎます。彼は後に「庭師ボーシャン」と呼ばれる高名な画家になりますが、絵を描き始めたのは40代になってから。きっかけは軍隊の任務、という興味深い経歴の持ち主です。

彼は41歳の時に勃発した第一次大戦で召集され、地図製作技師として作図に携わったことで、描写の才能を発揮していきます。しかし、従軍を解かれ故郷に戻ってみると、家業は傾き、妻は精神を病んでいました。彼は妻を連れて静かな森に隠棲し、自給自足の生活を送りつつ、止みがたい情熱にかられて描き続けます。

あざやかで、しかも上品な色で表された花や風景は、素朴な田園の人ボーシャンの現実であり、彼にしか描けない絵でした。特に、全てが正面を向く花々や、きよとした様子で邪気なく画布のなかに留まる人物たちには、観る者を惹きつける不思議な魅力がありました。

1921年、サロン・ドートヌ(マティスらが創設、ピカソやセザンヌらが活躍した公募展)でル・コルビュジエらの目に留まり、作品が購入されたときにはすでに50歳近くになっていました。「素朴な画家たち」を評価した美術批評家ウーデに認められ、1927年には、「聖なる心の画家たち」展にルソーらと出品。翌年には、ディアギレフ率いるバレエ・リュス(ロシアバレエ団)の舞台美術・衣装を依頼されるまでになりました。このときの作曲はストラヴィンスキー。「庭師ボーシャン」が前衛芸術家たちにも注目されていた証ともいえるでしょう。

76歳で再婚したボーシャンは、愛する故郷ロワール峡谷に居を構えます。晩年は栄光に包まれ、心からの真摯さで制作に熱中し、豊かで実り多い作品を生みだしました。85歳で永眠。レジオン・ドヌール勲章(フランスの最高勲章)受章。

### 世田谷美術館コレクションによる アンリ・ルソーと素朴な画家たち いきること えがくこと 2012/1/21(土)～3/18(日) 9:30～17:00(金曜日のみ 20:00まで)

文化フォーラム春日井・ギャラリー

[チケット情報] PiPi会員電話先行予約期間 11/24(木)～30(水)、一般発売 12/1(木)～

[料金] 一般 ¥500、PiPi会員・前売・学生(高校生以上)・団体(20名以上) ¥400、中学生以下無料

[助成] 財団法人地域創造

### 文化情報プラザで、文化芸術の情報をチェックしよう!

文化フォーラム春日井2階の文化情報プラザをご存じですか? 文化フォーラム・市民会館のイベント案内をはじめ、音楽・演劇・美術・映画など芸術に関するチラシ・本・雑誌・図録を自由に読むことができます。20席ほどの休憩スペースでゆっくり過ごしてみたいいかが?

チケット販売はもちろん、友の会PiPiの入会もその場でピピッと! 大好評のPiPiグッズも販売しています。みなさまに愛されるプラザを目指し、日々工夫を施しています。何かあればいつでも、わたしたちスタッフに声を掛けてください。駐車印もドンドン押しますよ!!

(文化情報プラザ 白井恵子・神田裕美・高瀬真由子・江口詩帆)

FORUM PRESS

「フォーラムプレス」は隔月27日頃の発行です。

## COMING SOON! >>>



### 日本を代表するAORシンガー 稲垣潤一が春日井に初登場!

9年ぶりのニュー・アルバム『たったひとりの君へ...』を携えお届けする、大人のためのロマンティックな一夜。「ドラマティック・レイン」「クリスマスキャロルの頃には」など、往年の名曲にもご注目を!

★大垣共立銀行 presents 春日井まつり前夜祭 30th Anniversary

稲垣潤一アコースティックライブ2011

10/14(金) 18:30～ @春日井市民会館

¥5,000、PiPi会員¥4,500

全席指定、当日券同額、未就学児不可



### 春日井市で活躍する 人形劇団が今年も集結!

かすがい人形劇フェスティバル2011

12/11(日) 午前の部 10:30～ 午後の部 14:00～

@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

おとな 各回¥800(当日¥1,000)、一日券¥1,500

こども 各回¥400(当日¥500)、一日券¥700

全自由席、3才未満無料、こども券は3才以上小学生以下を対象

[問合せ] 人形劇団バン ☎052-781-7412、

ざくらぶんこ ☎0568-91-8152

★無料で遊べる、「つくて遊ぼうコーナー」を

交流アトリウムで開催!(12:00～13:30)



### コンテンポラリーダンスって こんなに面白くて、素敵★

国内外で活躍するダンサー森下真樹。彼女のパワフル、かつ、ちょっぴりクレイジーなダンスで、心とからだを驚嘆!

第74回かすがい芸術劇場

森下真樹ダンス公演「これって、ダンスなの?」

2012/2/26(日) 18:00～

@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール、ほか

PiPi会員先行予約 12/3(土)

一般発売 12/10(土)

¥2,000、PiPi会員¥1,500

全自由席、当日券同額、未就学児不可



### 限られた字数の中で生活や社会、 自然を表現する、短詩型文学

身近な創作活動として親しみやすい短詩型文学は、研ぎ澄まされた表現や新鮮な観察眼を育みます。今年は、一般の部585点、小・中学生の部15,837点の作品が応募されました。

第31回春日井市短詩型文学祭作品展

10/29(土)～11/6(日) 入場無料

9:00～16:30(最終日は15:00まで)

@文化フォーラム春日井・ギャラリーラウンジ、附属室

●表彰式 11/5(土) 10:00～

@文化フォーラム春日井・交流アトリウム



### 三跡の一人、小野道風の偉業を たたえる、全国公募の書の展覧会

小野道風公奉賛

第63回全国書道展覧会(道風展)

10/29(土)～11/6(日) 入場無料

9:00～16:30(最終日は15:00まで)

一般部@文化フォーラム春日井・ギャラリー、

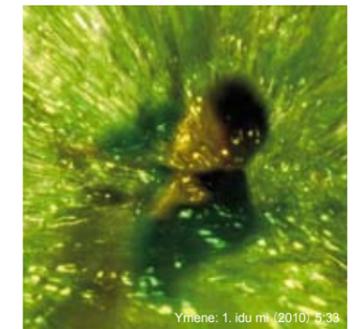
春日井市役所11、12階

学生部(楽幅)@春日井市役所10、11階

学生部(半紙)@春日井市道風記念館、観音寺(松戸河町)

※11/15～20@愛知県美術館ギャラリー J

で巡回展



### 日暮れとともに、さま変わり! 映像作品を「体験」しよう

映像作家・音楽家として国際的に注目を集める高木正勝が、交流アトリウムで映像作品を展開します。昼夜変化する展示は初の試み。訪れるたびにに変化する作品を楽しんで!

あいちトリエンナーレ地域展開事業

あいちアートプログラム 高木正勝展

12/3(土)～25(日) 入場無料

[DAYプログラム] 10:00～日没(17:00頃)

[NIGHTプログラム] 日没～21:00

@文化フォーラム春日井・交流アトリウム

子ども向けワークショップも開催予定!

**塩谷哲**  
**With ソルト・ストリングスコンサート 2011**

7/30 (土) 18:00~20:00 春日井市民会館

●いつの間にか演奏の中に入り込んでいました。久しぶりに心に響く音楽を聴きました。(60代・男性・可見市) ●初めて拝聴しました。塩谷さんが楽しい方だったので、ライブの楽しさ倍増でした。井上さんもお茶目で大好きです。(30代・女性・あま市) ●ソロピアノとはまた違う世界、ストリングスとの融合は最高です。アルバム作ってください。(40代・女性・春日井市) ●塩谷さんのピアノが流れると、会場の空気がどんどんキレイになっていく気がします。心地よくて、ずーっとこの空間にいたい!と思いました。(女性)



**スーパーサプライズ**  
**国立中国雑技団 特別公演**

7/31 (日) ①13:30~15:00 ②16:30~18:00 春日井市民会館

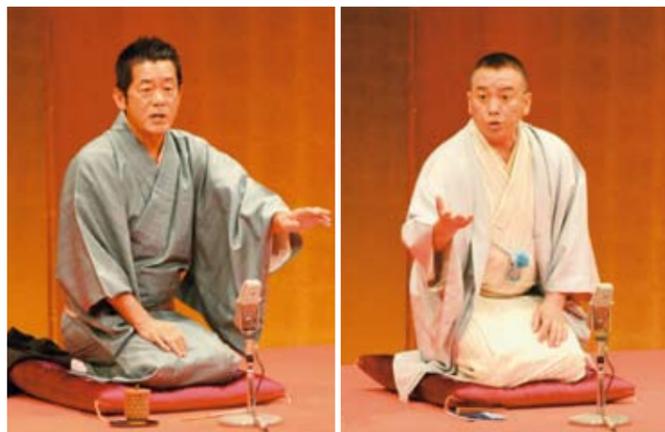


●子どもたちの演技は本当にすごかったです。一つ一つの演技がパーフェクトで良かったです。(12才・女の子・春日井市) ●傘の演技が、猫が傘の上を歩いているみたいでキレイでした。(20代・女性・春日井市) ●男の子のパワフルさと女の子のしなやかさ、本当にすばらしい公演でした。(40代・女性・春日井市) ●難技に挑戦してゆく意気込みとチームワークの良さに感動しました。(60代・女性・名古屋) ●学校の授業のような感じで進むのがわかりやすく、面白かった。(8才・女の子・春日井市)

**円楽・たい平二人会**

9/10 (土) 13:30~15:30 春日井市民会館

●落語は高校の芸術鑑賞会以来でしたが、当時見たよりずっと面白かったです。笑点は時々見ますが、劇場だと臨場感が感じられて良かったです。(20代・女性・春日井市) ●とても楽しませていただきました。いつも笑点で拝見している円楽さんとはまた違う感じで新鮮でした。たい平さんはお話が楽しく、時間を忘れました。(40代・女性・春日井市) ●涙を流して笑ったのは本当に久しぶりでした。やっぱり生は良いですね!(60代・女性・春日井市) ●久々に日常を忘れ、大笑いさせてもらいました!(30代・女性・春日井市)



**あたらしい教科書13「古典芸能」 | 金原瑞人**

古典芸能って、なんだかおとつきにくそう。そう思って、なかなか手を出せずにいる方も多いはず。「古典芸能に関しては素人」と自認する著者が、そんな読者を想定して書いた超入門書がこの本。歌舞伎、狂言、文楽、能、落語の若手トップランナーへのインタビューや、写真をふんだんに使ったキーワード解説で、各界の「今」を分かりやすく紹介しています。「今ももっとも旬な古典芸能」について気軽に読める、珍しい鑑賞ガイドです。(A.K)



**原寸大漫画館 | 水木しげる**

水木しげる氏の漫画を原寸大で再現したのがこの一冊。鬼太郎や悪魔くんなど、お馴染みのキャラクターが、各地の妖怪たちと戦う物語が収録されています。驚くのは、点描や効果線によって描かれる、彼らの生きる不思議な世界。おどろおどろしくも深みがあり、読んでいるうちに彼らの世界に引き込まれてしまいたい! 原寸大だからこそ、「点々」一つ一つに水木氏のみなぞるパワーを感じます。私のオススメは、児童の三平の「屁道」。ぶぶど笑えるユーモラスな一作です。(M.K)



**ムナーリのことば | ブルーノ・ムナーリ**

デザイナーであり、アーティストや絵本作家としても知られるブルーノ・ムナーリ。彼は多くの本を出していますが、本書は珍しい、自らの言葉を集めた特選短文集です。クスリと笑える言葉から世の中に対する鋭い考察まで、ムナーリの特徴ともいえる遊び心がつまっています。「芸術における最大の障害は 芸術を頭で理解したがる人々」という言葉を残せたのも、ジャンルにとらわれることなく、自由にそして柔軟に生きてきた彼だからこそ。世の中に対する視点を少しずらしてくれる一冊です。(S.H)



**最近、こんなの読んでます**

**STAFF SELECTION PLAZA REVIEW**

→ 文化フォーラム春日井・文化情報プラザで閲覧できます。ぜひ、どうぞ。

**糸編集り後記**

この夏、ウルトラヒーロー達が春日井に続々と登場し、ウルトラ旋風を巻き起こしました。文化フォーラム春日井にも来たんですよ。子どもたちと一緒に、はい、チーズ! ウルトラマンメビウスにウルトラセブン、それにウルトラマン。ウルトラヒーロー達は大忙しですね(笑)。

ニュータウンにあるサンマルシェで行われた「ウルトラマンメビウスがやってくる!」に参加してきました。みんなたくさん集まってくれて気づけば会場は子どもたちでいっぱい。小さなウルトラファンたちが、目をキラキラさせながら我がヒーローを心待ちにしている光景は、なんとも可愛らしかったです。それにつられて、なんだかこっぴどドキドキ。一生懸命「メビウスー!!」と叫ぶ姿に、子どもの頃の自分が重なって見え、ちょっと懐かしんでしまいました。(S.H)



**New!! SHOP**

友の会 PiPi 新・提携ショップ



味覚の秋・新作スイーツもどんどん登場します!是非お試しください。オーナーパティシエ 塩田秀樹さん

お店の看板商品「塩シュークリーム」が大人気。シュー皮に使われているモンゴル塩がアクセントになって、甘さ控えめで大人の味。その他、季節のフルーツを使ったケーキや焼き菓子も充実。食欲の秋にスイーツは欠かせませんよ!

**New! パティスリー メリ・メロ**  
サービス/代金5%OFF (12/20~25は除外)  
旭町2-19 ☎0568-33-8325  
10:00~20:00 火曜定休 Pあり



スコッチとビールを愛するオーナー 下里さんが、心をこめて迎えてくれる落ち着いたバー。スコッチの本場、スコットランドの LOCH NESS [ネス湖] を店名にする、こだわりよう。それ以外のドリンクや料理も提供しているので、どなたでも気軽に立ち寄れます。グラス片手に夜を明かす日が増えそうです!



**New! LOCH NESS** ロッホネス  
サービス/おすすめドリンク一杯サービス  
鳥居松7-31-3 モワ鳥居松1F  
☎0568-84-5522  
19:00~6:00 日曜定休

INFORMATION

かすがい市民文化財団 主催事業 チケットの電話予約方法

1. まずは、お電話ください

**PiPi会員の方** (受付時間 9:00 ~ 17:00)

PiPi会員専用 先行予約電話

**☎ 0568-85-6078**

※会員電話先行予約日(または期間)のみ、先行予約を受け付けます。  
※先行予約日が会員期間内であれば、先行予約が可能です。また、チケット購入日が会員期間内であれば、割引特典が受けられます。

**一般のお客様** (受付時間 9:00 ~ 20:00)

チケット電話予約

**☎ 0568-85-6868**

※チケット発売初日のみ、10:00からの受け付けとなります。

- 全席指定チケットを電話予約される場合は、座席の指定ができません。
- 文化フォーラム春日井・文化情報プラザにて直接購入される方のみ、座席の指定が可能です。

2. チケット受取り方法を選択してください

**A: 文化フォーラム春日井 2F・文化情報プラザにてお受取り**

チケット料金とお引換ください。お取り置き期間は、予約日から2週間以内です。(PiPi会員先行予約の方は、一般発売日以降となります。)

**B: 代金引換にて、ご自宅でお受取り**

郵便配達にて、ご自宅にチケットをお届けいたします。  
チケットと引換えに配達係員に指定の代金をお支払いください。

※注文後、約1週間程度で届きます。日にち・時間の指定はできません。  
※チケット代金の他に、代金引換手数料として500円程度をご負担していただきます。

チケット発売初日の販売時間について

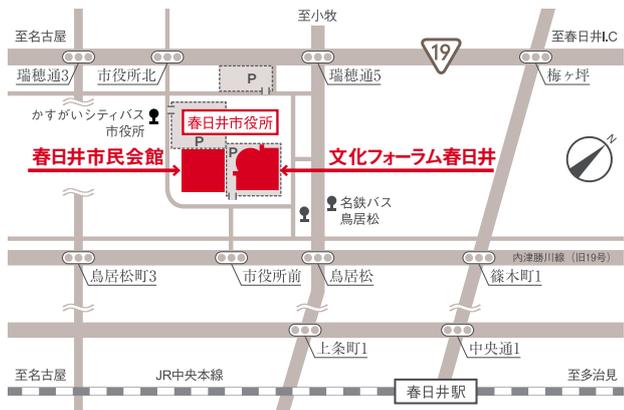
- 文化フォーラム春日井 2F・文化情報プラザ 窓口販売 9:00 ~
  - かすがい市民文化財団 電話予約(代金引換含む) 10:00 ~
  - チケットぴあ/スポット&電話予約(Pコード予約) 10:00 ~
  - /コンビニ(サークルK、サンクス)での直接購入 10:00 ~
  - ローソンチケット/電話予約(Lコード予約)&ローソンでの直接購入 10:00 ~
- ※公演によっては変更になる場合がございますので、お問合せください。

※前売完売の場合、当日券はありません。  
※友の会PiPi会員価格でのチケット購入および車イス席の取扱いは、文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、および電話予約のみとなります。(チケットぴあなど、その他のプレイガイドでの取扱いはありません。)

文化フォーラム春日井 / 春日井市民会館  
<http://www.lib.city.kasugai.aichi.jp/zaidan/>

486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44

[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日



**交通のご案内**

- JR中央本線「春日井駅」北口より  
名鉄バス「鳥居松」下車、西へ徒歩2分 / 徒歩 北へ約20分 / レンタサイクル(無料)で約5分
- かすがいシティバスでお越しの方  
「市役所」下車、南へ徒歩2分

※駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せをご利用ください。

オカリナの暖かいハーモニーで綴る  
クリスマス・コンサート

**OCARINA ORCHESTRA BRAVO 4th**  
オカリナ・オーケストラ・ブラヴォ

12月11日(日) 12:30 開場 会場/春日井市民会館  
13:00 開演 入場料/500円

[チケット取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ  
[問合せ] 水野(オカリナ・マコー) tel.0568-82-5041  
松本(オカリナ・スプリング・ウェル) tel.0568-91-7922

[主催] オカリナ・オーケストラ・ブラヴォ [後援] 春日井市、(株)ヤマハミュージック東海、(株)日響楽器

自分史は、読むより書いた方がオモシロイ。

心の中にある、大切な記憶や  
体験を本にしませんか。  
自分史、エッセイ集や  
郷土史、詩歌集、写真集など、  
原稿の内容とご予算にあった  
本作りのお手伝いをします。  
お気軽にご相談ください。

(担当: 小山・寺西)

ARM corporation  
株式会社あるむ

〒460-0012  
名古屋市中区千代田三丁目1-12 第三記念橋ビル3F  
TEL.052-332-0861 FAX.052-332-0862  
E-mail:arm@a.email.ne.jp http://www.arm-p.co.jp

出版案内進呈します。

今までよりも“今”が最高でありたい。

各種イベント・舞台の裏方をプロがサポート  
照明・音響・企画制作・・・なんでもご相談ください。

企画制作 各種演出 照明 音響 ホール管理

JS 株式会社ジェイエス

〒463-0070 名古屋市守山区新守山922番地  
tel.052-795-9331 (10時~18時/平日のみ)  
<http://www.js1979.co.jp>

春日井市民会館を  
平日・夜・練習で使うとおいくら?

私たちが  
お手伝いします!  
気軽にお声掛け  
くださいね!

かすがい市民文化財団  
2011年某月某日(火)  
17:30 ~ 21:30  
春日井市民会館を合唱練習  
(36人)で利用した場合

ホール使用料	¥20,000
音響反射板	¥4,630
ピアノ	¥4,120
ひな段	¥840
ポーターライト	¥820
合計	¥30,410

1人あたり  
850円~

[施設利用のお問合せ]  
春日井市民会館  
tel.0568-81-5318

HPに施設の空き状況を掲載  
(最新情報はお電話ください。)

かすがい文化 検索